

主な御意見等への対応方針一覧表

項目	番号	主な御意見等	対応方針
1 次期ビジョン骨子案について	(1)	将来像の中に生活が2か所に出ています。取り組むべき事業では生活がなくなっています。生活と食等を含める等考えてみてはどうでしょうか。	骨子案では、現ビジョンとの継続性に留意しながら、大まかな流れを定めております。今後、次期ビジョン（案）を具体化する中で、生活と食等に関連する事業について記載したいと考えております。
	(2)	地元の大学との連携について、もう少し書き込んでいただければ幸いです。（各部局ごと、創造都市全体でも）	地元大学との連携事業の中で、創造都市に関連の事業について記載することを検討したいと思います。
	(3)	「創造的人材の育成」は、市民も行政職員も含んで進めていく必要があると思います。	次期ビジョン（案）では主に市民を対象としておりますが、行政職員につきましては、創造都市への理解を深める研修等を通じて、創造都市についての理解をより一層深めていきたいと考えております。
	(4)	日本で唯一の海城町というのもよければ入れてください。	現在、本市では「海城」という表現は使用しておらず、現在のビジョンにおいても、「水城」という表現を使用していることから、次期ビジョン（案）においても引き続き、「日本三大水城のひとつである高松城を中心とした城下町」といった表現を使用してみたいと考えております。
	(5)	ビジョン骨子で何がしたいのか、どうなればすばらしい創造都市になるのかわかりませんでした。イメージイラストで伝わるものでしょうか。	骨子案では、現ビジョンとの継続性に留意しながら、大まかな流れを定めております。今後、次期ビジョン（案）を具体化する中で、イメージイラストなども活用し、分かり易いビジョンの策定に努めてまいりたいと考えております。
	(6)	企業ビジョンではないため、高松市という幅広いカテゴリーでの提案となるため、わかりやすいというのは難しいと考えます。今回の作成にあたっては今までの実践および今後の理想をふまえていますので、現在の骨子案なので、私としては問題ないと思います。そこから会議で発言のあった現場での事例について紐付けしていけばいいと考えます。	今後、次期ビジョン（案）を具体化する中で、イメージイラストなども活用するとともに、審議会での御意見を踏まえながら、市民の方にも分かり易いビジョンの策定に努めたいと考えております。

主な御意見等への対応方針一覧表

項目	番号	主な御意見等	対応方針
2 成果指標案について	(1)	質についての指標も考える。	これまでの課題の一つである「創造都市推進の成果を数値化して測定するまでに至っていない」ということを踏まえ、今回のビジョン（案）では数値目標を設定し、取組を検討することとしております。今後、次期ビジョン（案）を具体化する中で、男木島や仏生山町の質的な成果を定性的に表現してまいりたいと考えております。
	(2)	高松市職員に対する「創造都市」あるいは「創造都市政策」の理解度、推進度なども含めてはいかがでしょうか。	現在、本市職員に対する「創造都市」への理解を促す取組として、新規採用職員への研修や、今年度はさらに局内および健康福祉局管理職を対象とした、創造都市についての研修を実施したところです。しかしながら、次期ビジョンでは主に市民を対象として目指す創造都市の将来像の実現に向けた取組の成果を検証するための指標を設定したいと考えております。
	(3)	高松創造都市のwebサイト作成の必要性を感じました。もちろんfacebookも続けながら、アーカイブを残したりする必要もありますし、創造都市に関する欲しい情報が検索できるサイトやメルマガがあってもよいかもしれません。	現在、専用のwebサイトを直ちに作成する予定はありませんが、現在のフェイスブックをより充実させながら、本市の創造都市に関する情報発信を今後も積極的に行ってまいりたいと思います。
	(4)	全体的に関わった人の数+そこから何が生まれたか？までの追跡調査が必要と考えます。観点こどもの項目は、保育所、小学校の先生とともに意見交換をする必要があると思います。観点移住者は、今後コンパクトシティーの拠点となる地区をターゲットに調査したほうが良いと思います。	観点こどもの項目に関連する芸術士派遣事業では、派遣先の保育所等の施設長にアンケートを実施しておりますが、5段階評価のうちの上位評価である「とても満足」及び「まあまあ満足」の合計が既に95%程度ある現状となっております。コンパクト・エコシティについて、多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画の目的の一つである、「集約拠点への居住促進」の対象者は、移住者に限らず市内転居者も含むようになります。また、集約拠点の地域区分も「太田第2地区」等、町単位毎ではないため、統計上の計測が困難なことから、指標としての取扱いは難しいものとなります。

主な御意見等への対応方針一覧表

項目	番号	主な御意見等	対応方針
3 その他	(1)	会議以外での意見交換が必要と思います。	意見交換の場を直ちに設定することは困難と存じますが、会議の開催以外において、随時、事務局へ御意見をいただきたく考えております。

参考御意見等

項目	番号	主な御意見等
1 次期ビジョン骨子案について	(1)	ユネスコ創造都市ネットワークの件について、「ひとつ高い目標を掲げて取り組むことによって、より創造的な、そして革新的な方向へと発展していくことができるのではないか」ということを感じました。「ガストロノミー」で仮定しますと、もっとも期待しているのは、新たに移転する高松中央卸売市場の開業に合わせると、いろいろな要素が充実してくると思います。地方都市だからこそできること、地方都市だから大切にしたい「食」がたくさんあるはずです。「ガストロノミー」分野に関わらず、高い目標を掲げることが、市民の文化度、ここの満足度を上げることにつながると思います。
2 成果指標案について	(1)	「移住者」の人口数について、2年前は「仏生山」は県内でもっとも勢いのあるエリアの先端のように感じました。しかし今、キーマンが減り、少し静かな印象を受けます。町は生き物ですから「どこかが活気がある」は、永遠ではなく、その時々で変わっていることを「動向として把握していること」が大事ではないかと感じました。
	(2)	「移住者」の成果指標について高松の街中で暮らす人が増えたほうが都市としてのクリエイティビティや独自性は高まると考えています。男木島や郊外の仏生山にばかり人口が偏ると（現実的にはありえないですが）、空洞化が発生し、街のお店などはつぶれやすくなります。車などの交通手段がない外から来た人（特に観光客）にとって、郊外はアクセスしづらい場所であり、どこの地方都市にも見られる、車で大型ショッピングモールに買い物にでかけるライフスタイルは便利ではありますが、独自性も創造性もないと思います。
3 その他	(3)	高松市に代表的なシンボルアートはあればよいのではないかと思います。高松港に草間彌生さんの作品があれば最高です。